

[月刊]

# キャッチ ピース

# 46

通巻125号/1996.9.20 定価100円

自衛隊の海外派兵を食い止め、大幅軍縮を！  
米軍基地を撤去しよう！  
反核運動を継続し、核廃絶を！  
憲法9条を世界に！  
市民による平和政策を提起しよう！  
草の根の国際共同作業を進めよう！

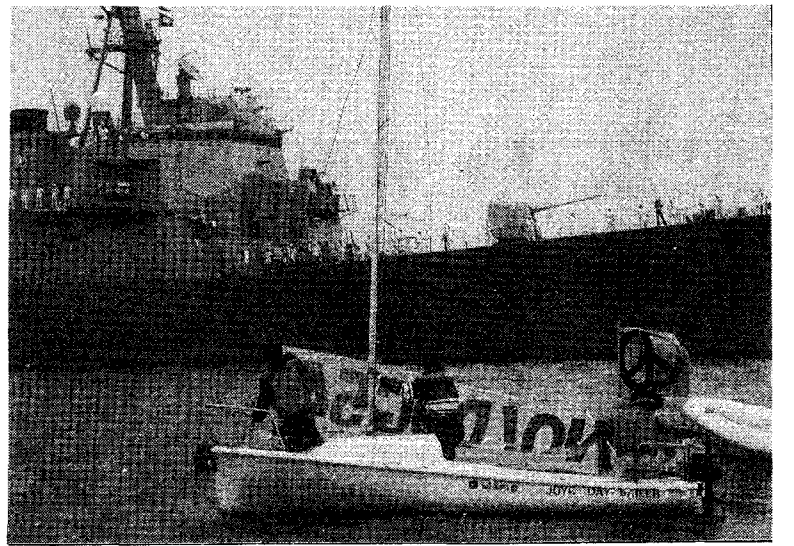
カーティスウィルバー横須賀母港化と日本の安全保障  
沖縄から●基地撤去運動の幕引きなどできない  
衆院選へ●各政党の安全保障政策を尋ねてみた  
異議あり！思いやり予算●関西の女たちが立ち上がった  
CTBT成立●核実験禁止から核廃絶へ  
日本の「核の傘」政策を変えよう●首相にハガキを！

九月三〇日朝、イージス艦カーティス・ウィルバー  
(後の母港化に抗議するヨコスカ平和船団。編集長も  
横断幕持ちでがんばったのだ。潜水艦は自衛隊。



●維持会員 (月額) ●参加会員 (月額) ●通信会員 (年額)  
個人1口1000円 個人1口500円 3000円  
団体1口2000円 団体1口1000円  
<会費は本誌購読料を含みます>

脱軍備ネットワーク  
キャッチピース



台風の接近で妙なうねりのある海の上、ヨットとクルーザーでカーティスウィルバーの入港に抗議。マイクをにぎったM牧師は、聖書を引きながら「殺すな!」と訴えた。(9月30日朝・横須賀港)

## これが「安全保障」なのか？

「アメリカ人が皆クリントンのイラクに対するミサイル攻撃を支持しているのではないということを知って欲しいと思います。(私が「アメリカの攻撃」ではなく「クリントンの攻撃」と言っていることに注目してください)。善良な人々の

多くは、この攻撃は人気取りのための政治的行為であると認識しています。(T・B)」。前号に掲載したキャッチピースのクリントン大統領への抗議文は、インターネットで世界に発信されている「東京万華鏡」という電子週刊誌に取り上げられた。これはアメリカの読者から送られてきた電子メールである。

九月三日、四日のイラクミサイル攻撃は、人道的にも国際法上も決して認めることのできない野蛮な行動だった。イラク民衆を標的にして「選挙キャンペーンの花火」を打ち上げたクリントン大統領に対して、アメリカ国内の平和運動は一斉に抗議の声を上げた。二七州に六万人の会員を抱える平和団体「ピースアクション」の抗議声明は言う。

「クリントン大統領がイラクに対して軍事力行使する決定をしたことを、我々は深く憂慮する。これは、この地域でのさらなる暴力の拡大と、アメリカ市民に対するテロ攻撃の危険を増加させるものである。人命の損失とクルド危機に対する平和的解決の機会が失われたことを、我々は残念に思う。我々は、サダム・フセインの独裁政治の残虐性は疑う余地のないものだと考えているが、今回のよ

うな軍事行動はサダム・フセインを罰することにはならない。これらの攻撃は、彼の被害者、即ちイラクとクルドの民衆を罰することになるのだ。(略)

明らかにこの攻撃はクルド人の安全保障とは関係がなかった。もしそうであれば、クリントン大統領はトルコへの攻撃ヘリの売り込みを後押ししなかつたらう。この兵器の売り込みこそはあらゆる主な人権団体が非難しているものである。トルコはこの兵器を、国内でのクルド武装勢力への作戦の際、クルド民間人を無差別に殺戮するのに使用しているからである。この売却は現在中断しているとは言い、クリントン政権は、「安寧確保作戦」(サダム・フセインからクルド人を保護するというアメリカの作戦)を引き受けるといふトルコの矛盾に満ちた要請を、同時に考慮し始めているのである。これでトルコは自国でのクルド人との戦いに優勢に立てるのである」(訳 青木雅彦)。(訳 青木雅彦)

在日米軍基地はこの「デザート・ストライク」と呼ばれるイラク攻撃に深く関わった。

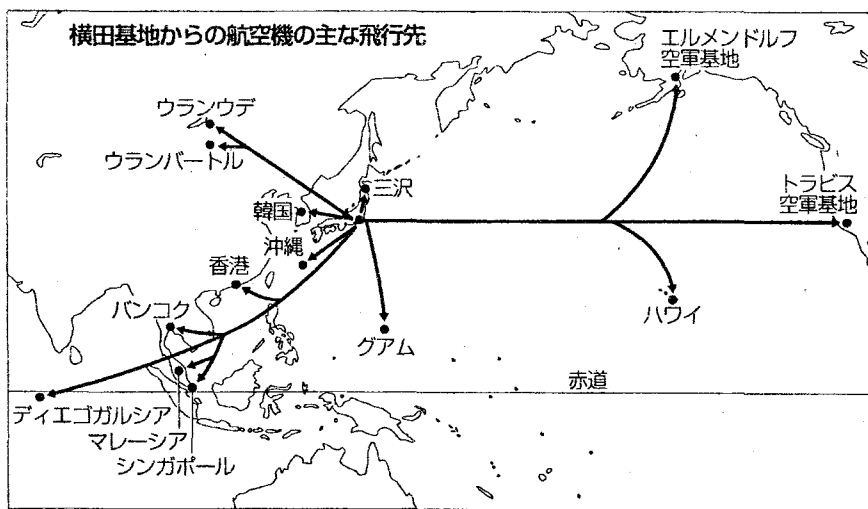
横須賀を母港にするトマホーク艦

ヒューストンは六月三日出港、第五艦隊に編入され、最初のトマホーク攻撃を行った(第七艦隊の船も、中東に入れば自動的に第五艦隊所属になる)。最初のトマホーク攻撃を行った。

第二波の攻撃では、空母カールビンソン戦闘団の原潜ジェファソンン、ティガトマホークを発射した。空母カールビンソンとジェファソンン、ティガトマホーク、シャイロとともに、五月三〇日横須賀に入港、六月二日に出港しホンコン、シンガポール経由でアラビア海に入りデザート・ストライクに参加した。

最初の攻撃には、米本土から派遣されたB52爆撃機が加わった。二機のB52はグアムに立ち寄った後、南シナ海上で空中給油を受け、戦場に向かった。給油を行ったのは嘉手納基地所属のKC135だった。

米空軍の電子ニュースは、アメリカ・ルイジアナ州から「アジア太平洋地域」を股にかけた今回の作戦を「サダムフセインへの強力なメッセージだっただけでなく、アメリカ空軍は何時でも、何処にでも行けることをあらためて示した」(8ページ下段へ)



「朝日新聞」9.27より

# 各政党政策担当者様

## 安全保障・外交政策に関する

### 開問 公質

十月五日 キャッチピース

#### 各政党政策担当者様

日本国民と国際社会の平和のため、日夜奮闘いただいていることと思います。私たちは、全国各地で平和運動に取り組んでいる市民団体・個人で構成するネットワークです（別紙に紹介）。まもなく国民の信を問う衆議院総選挙が実施されようとしています。「政策中心の選挙」を掲げる新しい選挙制度での初選挙であり、また「政党助成金」の名で私たちは有権者も金銭的な負担を強制されたこともあり、いつになく真剣に候補者を選ばざるを得ません。しかしながら「政策中心」の建前とは裏腹に、最近では政界

「再々編成」の動きのためか、政党ごとの政策の違いが有権者から見分かりにくくなっています。とりわけ国の政策の根幹をなすいわゆる外交・安全保障問題に関する政策に関しては、与野党とも分裂を避けたためか明確化することを意識的に避けている印象を受けます。現在どの政党が公式にどういう政策を掲げているのか、今や政治的関心の高い人でも明確には答えられなくなっているのではないのでしょうか。

私たちはこれまで地域で、あるいは様々な機会に市民の立場から平和を訴える運動を続けてきました。今国際社会と日本自身

が大きく変わろうとする中で、この総選挙は国民が主権者としてその意志を表明できる数少ない機会です。もし政党が何らかの理由で、この戦争と平和に関する問題で自らの主張を明確にすることなく選挙が行われることがあれば、それは議会制民主主義そのものの否定です。私たちは貴党に争点を明確にして、国民にはっきりと信を問うてほしいのです。

この数十年のうちで、今ほどいわゆる安全保障の問題で多くの争点が出積みされている時代はありません。私たちは、自分たちがこれまで関わってきたこの戦争と平和の問

題について、いくつかの重要な争点に絞って貴党にご質問をさせていただきます。

これは公開の質問状とお考えください。この御回答の内容は様々なメディアを通じて公表し、有権者の判断の材料とさせていただきます。回答はこの用紙にお願いいたします。選択式の場合は、該当する項目の先頭に○をして下さい。解答欄が不足の場合は別紙に書き込んでいただいても構いません。お忙しいところ恐縮ですが、一〇月一四日までに以下の連絡先まで御返送下さい。Faxでも結構です。

#### 脱軍備ネットワーク・キャッチピース

##### 全国運営委員（順不同）

- 神田公司（熊本市民センター）／今川正美（佐世保軍事問題研究会）
- ／林修二（ピースリンク広島・呉・岩国）／湯浅一郎（ピースリンク広島・呉・岩国）／中北龍太郎（関西共同行動）／吉田満智子（連塾）／青木雅彦（反戦ドタバタ会議）／河辺昭敏（あいち反戦の会）／林秀樹（金沢市民運動連絡センター）／新倉裕史（非核市民宣言運動ヨコスカ）／遠藤洋一（福生市民連合）／梅林宏道（平和資料共同組合）／田巻一彦／山中悦子／皆川みずえ（以上キャッチピース編集部）

### Q1

今年4月の日米首脳会談で日米安全保障条約が「再定義」されたとの評価が専らです。貴党のこれまでの安保条約（六〇年安保）に対する評価をお聞かせ下さい。

従来そのまま良い 冷戦後の見直しが必要特に（ ）の点 条約そのものを改定すべき 条約を破棄すべき その他（ ）

### Q2

いわゆる集団的自衛権の問題についてお尋ねします。従来憲法違反」という政府解釈を改めるべきだという意見が強まっています。貴党の考えを具体的にお聞かせ下さい。

従来通り個別的自衛権の枠に留まるべき 米軍との共同作戦では集団的自衛権の行使に当たる行動も取るべき 国連の指揮下では集団的自衛権の行使に当たる行動も取るべき 集団的自衛権は日本は持っている 持っていない その他（ ）

### Q3

「極東有事」を前提にした日米防衛協力指針（ガイドライン）の見直し作業が現在進められていますが、この「ガイドライン」はどのような内容になるべきだとお考えでしょうか。

従来の「ガイドライン」を変える必要は

### Q4

「極東有事」などの場合、米軍が軍事行動を起こした際日本が協力すべきだという意見があります。貴党の考えをお聞かせ下さい。

ない 法的拘束力を持つ内容を盛り込む 日米の軍事的な分担を具体的に書き込む ガイドラインは破棄すべき その他（ ）

### Q5

「極東有事」に関連していわゆる「有事立法」論議も起こっています。貴党は「有事」すなわち日本周辺での戦時に対応するための新たな立法（政令を含む）措置が必要とお考えでしょうか。もし必要とお考えなら、新規立法及び改正法令の名

称と中味を具体的に指摘してください。

### Q6

在日米軍の規模についてお尋ねします。現在の在日米軍の規模は日本の防衛にとって、また安保条約で謳われている「極東の平和と安全を守る」ために適正な規模とお考えでしょうか。

少なすぎる 適当である 大きすぎる 米軍については判断を差し控える

### Q7

Q6で「少なすぎる」と答えられた党にお尋ねします。どのような部隊・装備を、日本どこに配備すべきだとお考えでしょうか。

### Q8

Q6で「大きすぎる」と答えられた党にお尋ねします。どのような基地・部隊・装備から、在日米軍の削減を要求されますか。

### Q9

自衛隊の規模についてお尋ねします。現在の自衛隊の規模(部隊の)・装備はいわゆる「専守防衛」に照らして、また現在の国際情勢において適当でしょうか。(規模・装備)が(不足)している・過剰である

### Q10

Q9で「(規模・装備)が(不足)している・過剰である」と答えられた党へ。具体的にどのような部隊・装備が、不足している/過剰であるかお答え下さい。

### Q11

日本の軍事費(防衛費)はこの四〇年間増え続けています。そして現在も「聖域」としてシーリングの対象外になっています。今後の日本の軍事費の増減についてどうお考えでしょうか。

今後増やし続ける 国際情勢にあわせて増減を考へるべき 日本の財政事情を勘案して防衛費の聖域扱いはやめるべき すでに多すぎるので削減を図るべき その他( )

### Q12

日本は現在在日米軍に対して多額のいわゆる「思いやり負担」(地位協定で定められた以外の負担)を支出していますが、この負担は今後どうすべきだとお考えですか。

### Q13

米軍が要求するなら増額すべき 現在の水準に留めるべき 減額をはかる 支出すべきでない 沖縄の普天間基地の移転にかかる多額の費用は日本が負担することになっているようですが、この費用はこれまで

### Q14

沖縄県が二〇一五年までに「基地のない沖縄」を作るとしているアクションプランをどう評価し、貴党としてどう対処されますか。

「国策」としての安保を崩壊させるので、絶対に認められない 日米安保を維持する上で、支障があるので全面的に評価・実行するわけには行かないが、沖縄県民の思いをくめるようできる限りの努力はしたい 当然の主張であり、全面的に支持し、実現のため尽力する その他( )

### Q15

沖縄の基地縮小に関する特別行動委員会SACOは、四月の中間報告に沿って普天間の全面移駐や、基地の二〇%移駐の方向で作業をすすめています。沖縄県のアクションプランと比べて、どう評価しますか。

沖縄県民の思いに答える政策としては素晴らしい まだまだ不十分だが、地地の縮小どころか基地の分散でしかない

### Q21

日本は現在アメリカからTMD(地域ミサイル防衛)参加を強く求められており、防衛庁も「前向き」で検討していると言われています。一方で多額の支出を強いられるとの懸念もあります。TMD(または弾道ミサイル防衛一般)について現在貴党はどのようにお考えでしょうか。

TMDには積極的に参加すべき 費用対効果比を検討してから参加を決めるべき 実効性が薄いから参加すべきでない かえって周辺国の疑惑を招き緊張を高めるので参加すべきでない その他( )

### Q22

今年9月に米軍は巡航ミサイルでイラクを攻撃しましたが、その際に横須賀を母港とする艦船がトマホークミサイルを発射しました。この時米国からは日本政府に「事前協議」の申し入れはありませんでした。安保条約の「事前協議」の制度は有名無実のものとなっていると考えられるのですが、貴党の見解はどうでしょうか。もともと一度も行われたことがない制度だからこのままでよい アメリカに事前協議を行うように申し入れるべき 特に日本の安全に影響を及ぼす場合に限って協議をすべき 「事前協議」の中

### Q19

七十八年の「ガイドライン」の締結以来、自衛隊と米軍の共同演習が本格化しました。この日米共同演習について貴党のお考えは?

積極的に推進すべき これ以上拡大すべきでない 演習の中味によっては行うべきでないものがある 中味や目的について国民の周知を図るべき 回数規模を縮小 中止すべき その他( )

### Q20

九二年以来自衛隊がいわゆるPKO部隊として海外に派遣されています。現在のところ、武力行使を伴う「PKF任務」については「凍結」扱いられています。一部にはこれを解除してPKFにも参加できるようにすべきだとの意見がありますが、貴党の御見解は?

PKFに参加できるよう法改正をすべき 現在のままでよい 現状でも自衛隊が海外での武力行使をしよう危険性があるのPKO参加自体を見直すべき

ので、アクションプランとは比べるべくもなく、ほとんど無意味である

### Q16

沖縄での海兵隊の異道越え実弾射撃訓練を、政府は本土の自衛隊演習場に移そうとしています。移転予定地の地元では反対の声がありますが、貴党の態度は?

本土で受け入れてもらえるよう地元を説得する 地元意向にかかわらず移転させる 引き続き沖縄で演習を続けてもらう 日本では海兵隊のこの種の演習を中止させる その他( )

### Q17

昨年の秋の沖縄海兵隊の少女暴行事件以来、日米地位協定の「見直し」を求める議論が盛んになっていますが、貴党は現在の地位協定をどうすべきだとお考えでしょうか。

現在のままでよい 一部の不備は運用によって改善すべき 地位協定を一部改める(具体的に) その他( )

### Q18

米軍は80年代後半より、頻りに日本上空で超低空飛行訓練を行っており、墜落事故を起すなど住民の不安が広

味・やり方についてアメリカと協議しな  
おす。その他( )

### Q23

今年の9月に国連でCTBT  
(包括的核実験禁止条約)が  
採択されました。日本政府  
もこのCTBTを強く支持し  
ていることは知られています。しかし一方  
で日本政府の公式政策として「核抑止につ  
いてはアメリカに依存する」(新防衛計画の  
大綱)ことも謳われており、核抑止論を全面  
的に支持しています。このようなことは  
「究極の核廃絶」を掲げる日本の立場とも矛  
盾するように思えるのですが、核抑止論と  
日本の核政策について貴党はどうお考えで  
しょう。

今後ともアメリカの核抑止力に依存する  
独自の核武装を進めるべき 核抑止の  
考え方がもう通用しない 非核三原  
則を法制化して厳格な非核国になるべき  
その他( )

### Q24

従軍慰安婦問題などのいわゆ  
る戦後賠償の問題についてお  
尋ねします。現在の日本政府  
の立場は、法的には賠償問題  
は決着済みであり、「償い」に関しては民間  
の基金をあてるというのですが、この点  
について貴党はどうお考えでしょうか。

政府の責任で賠償を行う必要は全くない  
事実関係などを調査した上で個別に再検

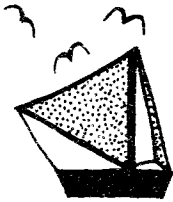
討する 日本戦争責任を明確に  
する意味で政府による賠償を行う  
その他( )

### Q25

日本国憲法9条や前文の「平  
和主義」を定めた部分は、米  
ソ冷戦の終結の時代におい  
て、いよいよ光を放っています。  
憲法のこの部分を、貴党は堅持すべきだ  
と考えますか、または書き改めるべきだと  
お考えですか。

憲法九条は堅持すべきで、まったく書き  
換えの必要はない 改めた方がよい  
(具体的に： )が憲法改  
正はただちにはできない 書き改める  
べき(具体的に： )で、そ  
の  
のために活動するつもりだ  
他( )

以上です。どうもありがとうございました。



# 包括的核実験禁止条約 CTBT成立

## 「核爆発実験禁止」から 核廃絶へ 次のステップを切り開くのは 市民の連帯の力だ

◆九月一〇日、国連総会特別会議で、包  
括的核実験禁止条約(CTBT)を圧倒  
的多数で可決、九月二四日には調印され  
た。最初の核爆発から五〇年以上を経  
て世界はようやく「核爆発実験を全面的  
に禁止する」という合意にたどりつい  
た。条約可決の道のりは本紙でもすで  
に述べたが、報告しているように、紆余  
曲折に満ちたものだった。全面禁止を求  
める非核保有国に対して核保有国(米・  
英・ロ・中・仏)や核保有の疑惑のある

国々(インド・パキスタン・イスラエル)  
は、あの手この手で条約成立を妨害し、  
あるいは骨抜きにしようとした。  
◆結果として出来上がった条約は、コン  
ピューターシミュレーションなど爆発を  
伴わない核兵器実験を禁止の対象からはず  
している。また爆発寸前で核分裂反応  
を止める「未臨海実験」を、米国は条約  
には違反しないとして、将来行うことを  
公言している。さらに、条約に反対し、  
不参加を表明しているインドを含めた四  
ヶ国(原子炉保有国)が批准しなければ、  
条約の効力が発生しないとされている  
など、不満も不安も残る。  
◆だが、「核爆発実験を禁止する」という  
原則が圧倒的多数の国々によって確認さ  
れた意義は大きい。現在核実験を停止し  
ている核保有国もおいそれとは実験再開  
などとは言えない。そんな環境が作られ  
たのだから、世界は最終ゴールである核  
廃絶に向かって重要な一歩を踏み出した  
と言っていいだろう。  
◆この転換を核廃絶への次のステップに  
つなげていくのは市民の連帯した力だ。  
ヒロシマ・ナガサキの歴史を持ち、今、  
米国の「核の傘」の下にいる日本の市民  
の動きが鍵をにぎっている。(た)

(3ページから)  
(Air Force News 9/11)と誇らしげに報  
じている。

この「何時でも何処にでも行く米軍」  
が平時から準備されていることをはつき  
りと示したのが、福生市民連合の遠藤さ  
んが調べあげた横田の米軍機の飛行先の  
データである。横田の航空機の行動範囲  
は、インド洋のダイエゴガルシア(中東  
作戦の前線基地)にまで及んでいること  
がわかった。

これが「再定義」された日米安保の正  
体なのだ。それどころではない。デザ  
ト・ストライクへの在日米軍基地の関与  
がほとんど問題にされない日本の政治状  
況を見ると、「再定義」の危機にあるの  
は、日本人の「平和認識」かもしれない  
とさえ思ってしまう。

米軍が「何時でも何処にでも行く」軍  
隊でありつづけるために、カーティス  
ウィルバーは横須賀にやってきた。人々  
の命を的に、力によって「国益」を守る、  
「秩序」を維持する。そんなことが「安全  
保障」の名に値するのだろうか。そのこ  
とを何よりも今問いかけたい。

(田巻一彦)

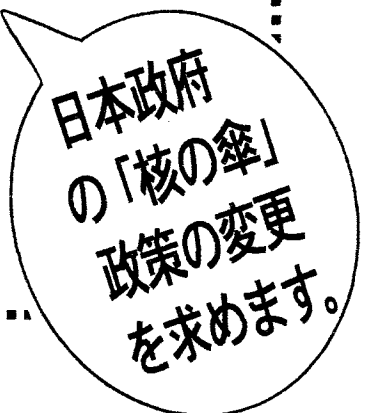
### 首相に ハガキを！ 平和資料協同組合が呼びかけ

●今年七月八日、国際司法裁判所(ICJ)  
は、核兵器について次のような勧告的意見  
を出した。「核兵器による威嚇や核兵器の使  
用は、極限的な自衛状況以外は国際法に違  
反する」「極限的な自衛状況では、合法か違  
法かを判断できない」。つまり「核兵器は合  
法」という判断はいかなる状況でもなされ  
ない、というのが結論。

●日本政府は、新しい「防衛計画の大綱」で  
「米国の核の傘」への依存を明言している。  
この日本の政策の変更を求めるハガキ運動  
を「平和資料共同組合」が呼びかけている。

五枚 二〇〇円／一〇枚 三〇〇円／五〇  
枚 一〇〇〇円／一〇〇枚 一八〇〇円  
(いずれも送料とも)

注文は平和資料共同組合(☎〇四五・五  
六三・五一〇一 FAX〇四五・五六三・  
九九〇七)



# 沖繩から

沖繩がかわれば、アジア・太平洋がかわる

報告⑬

「沖繩から」  
「沖繩ボイス」  
編集委員

伊波洋一

（沖繩県議会議員・前沖繩中  
部地区労働局長）

〒901-22 沖繩県宜野湾市志真志517-1  
沖繩県平和センター気付  
TEL 098(898)6628  
FAX 098(897)6653  
郵便振替 鹿児島2-11249

## 幕引きなどあり得ない

ピッタリ一致した。自民党などの呼びかけで反対票が棄権した分だけ投票率が下がったとも言えよう。

### 投票日、各地の様子

県民投票の翌日の地元紙は、県民投票に寄せるの県民の思いを伝えた。この十数年間どんな選挙にも投票したことのない九六歳の目取真（めどるま）ウトさんは、「子や孫の未来のために私も何かしてあげたい」と車椅子を借りて投票所に出かけて「賛成票」を投じ、「グソー（後生・来世）に良いお土産ができた」と笑顔をみせた。

沖繩本島南端の摩文仁にある五十一一年前の沖繩戦の戦没者二十三万人を刻名する平和の礎（いしじ）には、県民投票を終えた遺族が多く訪れ、それぞれの親族の刻名の場所で線香を捧げ、県民投票を伝え、ミルクユ（弥勒世・平和の時代）を願う光景がみられた。

### 県民投票への各界の評価

米軍基地整理縮小への賛成票が89%に達し、有権者の過半数も超えたことで、日本政府は県民投票結果を「厳粛に受け止める」とし、特別立法を見送り、沖繩振興策と基地整理縮小に本腰を入れる方針を固めた。

宜野湾市の長田区は、国立琉球大学の学生が多く住み、いつもは投票率が他より低い地区だが、県民投票では六十六・七十一%と市の投票率五十九・五九%を大きく上回る最高投票率となり、若者の関心の高さを示した。

一方、伊江村は三一・四二%と県内で最も低い投票率となった。一九五五年から米軍による土地強制収用に反対する闘争が続く一方、離島ゆえに基地収入を肯定し防衛庁補助金での農業振興をめざす村政が続いており、多くの村民が棄権した。

が、県民は県民投票の結果を総じて評価した。

### 首相・知事会談と 知事の縦覧代行表明

八月二十八日に最高裁大法廷が代理署名裁判で国全面勝訴の判決を出したことで、行政責任者の立場にある知事は、強制使用問題で国の三権（内閣、国会、最高裁判所）に対立して厳しい立場となっていたが、圧倒的に「米軍基地の整理縮小」を求める県民投票結果は、国に対立する県の立場を強く支えるものとなった。

一方、県民投票にむけての運動が高まる八月から国は、九月中旬ごろに集中している沖繩基地に関する日米協議前になんとか県と折り合いをつける意向もって基地返還アクションプログラムや沖繩振興策について話し合いを継続してきた。

また、国政の場では県民投票後に県と話し合いを行い、基地問題解決の道筋を見極めた上で衆院解散し総選挙を行なうことが橋本内閣の方針となり、会談前から九月末解散、十月二十日投票がほぼ確定しつつあった。

これ以上、沖繩県との関係を悪化させると「日米安保体制が足元から揺らぐ契機になりかねない」（外務省北米局幹部）という懸念を踏まえた上での方針である。

米政府は、表面上は国内問題として静観してきた。しかし、投票結果についてニューヨーク・タイムスやワシントン・ポストなど米国主要紙とテレビネットワークは、「九〇%が基地削減にイエス」と報道し、今後と米軍基地をめぐる米国内の論議に大きな影響を与えることは間違いない。

県内では、県民投票条令の制定請求を行なった連合沖繩は渡久地会長は「有権者の過半数の賛成で質、量ともに大成功」と評価し、同様に県民投票を推進した革新政党や市民団体も投票結果を高く評価した。

県内市町村長のコメントは、ほとんどが県民投票結果にあらわれた基地整理縮小への県民の意志を評価するものとなった。マスコミや経済界も高く投票結果を評価した。

一方、棄権を呼び掛けた自民党県連や土地連など安保や基地を容認する側は、投票率の低下を理由に「失敗」と断じた

大田知事は前回の五年前に代理署名を行なった時、県が軍転法の立法を求め、国に検討することを約束させたが、当時の自民党政府は履行せず、軍転法はその後の連政権で成立した。大田知事は前回の轍を踏まない決意を表明していた。

そのような中、投票二日後の九月十日には首相・知事会談が行なわれた。県民投票条令は投票結果を日本政府と米政府に知事が通知することを定めており、投票結果を伝えながらの会談となった。

しかし、会談前からマスコミは知事は縦覧代行を行なう予定と報じ、県民投票に関わった多くの団体や県民は県民投票成功の熱気も冷めない中での縦覧代行報道に戸惑った。

そして、首相・知事会談の三日後大田知事は国の対応を評価して縦覧代行を表明した。

事態の急展開を多くの知事を支える政党や各種団体の多くが予想しておらず、九月十二日、十三日に行なわれた意見聴取の意見が真つ二つに割れることになった。

## 首相・知事会談での国の提案

五年前の轍を踏まないとする大田知事に対して、橋本内閣は政権与党の社民党のパイプを通じて沖縄県の要望を八月から聴取してきており、首相・知事会談では県民投票にあらわれた基地整理縮小・地位協定みなおしを求める沖縄県の意志を厳粛に受けとめ、沖縄振興策への協力を表明する閣議決定の総理大臣談話を発表し県の方針転換を図ることになった。具体的内容は次の九点。

一、沖縄基地問題解決への努力が足りなかったことを反省する。二、県民投票結果を厳粛に受けとめる。三、日米安保はアジア・太平洋地域のために極めて重要。米軍基地の安定的使用の確保は重要。四、決定済みの基地返還、演習移転の解決。五、引き続き基地の整理・統合・縮小を推進。六、米軍の兵力について継続的に米国と協議。七、沖縄県の「二十一世紀・沖縄のグランドデザイン」を認知し、沖縄振興策へ協力。八、沖縄振興策のために特別調整費五十億円を予算計上。九、官房長官および関係大臣と沖縄県知事による沖縄政策協議会の設置。

## 二つに割れた県内の反応

国の対応を評価できるとした大田知事は、九月十二日に関係団体への意見聴取を行なった。意見聴取は副知事や出納長が担当し、県議会内各会派、労働団体、女性団体、大学研究者などと個別に那覇市内のホテルの会議室で行なわれた。意見を求められた中では、社大党や結の会が慎重な対応を求めて保留し、共産党が拒否貫徹を求めたほかは、容認もしくは知事へ一任した。

一方、意見を求められなかった当事者である市町村長や反戦地主会は県の方針転換に反発し、県知事を糾すために面会を求めた。

特に、普天間基地の全面返還に伴う代替ヘリポート建設の有力候補地となった嘉手納基地に隣接する四市町村長（沖縄市、読谷村、北谷町、北中城村）は、県内移設反対の立場から知事に再考を促すことを決めた。そのために、知事は翌日十三日に、出納長を中部に派遣し、県の立場を市町村長に説明した。

当事者である反戦地主会は、大田知事との面会を求めて県庁に押しかけ、知事

が縦覧代行を正式に決定し公表する直前に、約一時間にわたり大田知事と話し合いを持った。

現実的な選択をした大田知事と戦争につながる強制使用に反対する地主との話し合いは、十五分の予定が一時間に及んだ。最高裁での全面敗訴によって現実的な選択をせざるを得ないという大田知事と代行拒否を貫くべきとする反戦地主の主張は平行線に終わった。

その三十分後に庁議が開かれ、縦覧代行が話し合われて決定された。そして、知事は代行承諾通知を決定して、知事の代行承諾記者会見が行なわれた。

その後、反戦地主会、違憲共闘会議、反戦地主弁護団が抗議声明を発表した。同じく一坪反戦地主会が代行で抗議声明を発表した。

この一年間、代理署名拒否によって反基地運動の近くに立っていた沖縄県は、今回の縦覧代行決定によって国との協調関係を重視する立場に変わったが、この一年間で「米軍基地全面撤去」のスローガンが「基地返還アクションプログラム」や「二十一世紀・沖縄のグランドデザイン」など具体的な行動計画として位置付けられたことは極めて重要な成果である。

ある。

大田知事の選択は、沖縄県が米軍基地の島から脱皮することを国に認知させ、具体的に歩みだすためともいえよう。しかし、多くの県民は急展開に戸惑いを隠していない。

## 基地問題の幕引きはできない

県の縦覧代行は、日米両政府に大きな安堵感をもたらしたが、米軍基地問題の幕引きをすることはできない。

普天間基地の全面返還に伴う代替ヘリポート建設問題は、県内各地に飛び火している。

国は海上案を提示して沈静化を図っているが、海上案に対して沖縄市議会が抗議決議を採択した。

県内の演習も激化しており、ヘリの不時着事故や嘉手納基地の爆音の激化、絶えることのない米軍犯罪のなど現在の米軍基地と兵力規模が続くかぎり、この一年のような運動の契機は起こるだろう。反基地運動の側においても、この一年の運動展開を総括しながら今後の反基地運動を継続できるものと確信する。

## 「沖縄ガンバレ」を卒業しよう

なんでなの。県民投票の直後に橋本首相と握手をしている大田知事の姿を見て、「あなたもやはり『政治家』だったんだね」と正直がっかりした。ハガキを書いた、ファックスも電子メールも送った。頑張つて欲しい。知事のがんばりは日本の希望だと思っていたのに。九月二日横浜での反戦地主との交流集会で有銘政夫さんは、そんな私たちを励ますかのように話した。「今までは知事

ガンバレだったが、私たち地主自らの闘いがこれから始まる。収容委員会での闘いに、ワクワクしながら手ぐすねひいている」。そうだったのだ。励まされているのは私たちだったのだ。沖縄の人々は「基地の縮小・撤去」「地位協定の見直し」を切り口に巨大な戦争機械「安保」の足許を揺さぶりつけてきた。そのありように力づけられたのが私たちであり、断じてその逆ではなかった。なのに私たちは「沖縄ガンバレ」止まりで、私たち自身の「切り口」を共有できずに今もいる。キャッチピスは「地位協定の見直し」、「思いやり予算」を提案してきた。「切り口」見つけたための真剣な話し合いが求められている。(田巻一彦)



## 意見広告に 4925人・団体 カンパ823万円!

●44号で紹介した「沖縄県民投票を成功させる意見広告」(取り扱い責任者 仲田博康さん:相模原)には、全国からこれだけの賛同カンパが寄せられました。県民投票前日の9月7日、上の絵とともに賛同者の名前が琉球新報と沖縄タイムスに掲載されました。デザインは仲村好博さん。(編集部)

# 「あの米軍」を支えているのは、私たち

異議アリ・思いやり予算・関西から

連絡先 松井義子 TEL/FAX 06-878-7534

徐 翠珍 TEL/FAX 06-562-0621

## 政治

はいつも男たちが引き回し、戦争は、軍隊は、男たちの論理で進む。

その多くの犠牲はいつも女たち。

軍隊、基地は人殺しの訓練の場です。沖縄での少女強姦事件は基地の島・沖縄の悲しい必然です。戦後五〇年、沖縄の米兵による性犯罪のおびただしい数と、その痛ましい実態を見れば明らかです。

この女たちの恨みと今回の少女の勇気ある告発に答える行動。「反軍・反基地」の闘いを、女の目の位置から始めよう。そう思い立った時に、具体的なきつかけを教えてください。それが「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」の桑江テル子さんのよびかけでした。

「みなさんどう思いますか。遠く沖縄にあつて、本土では痛みは直接感じないでしょう。沖縄の人が怒っている、苦しんでいると言ったら、『それは大変だね』というところまではわかるのですが、ではどうするかと言つこと、ここからが皆さんの課題です。ではどうするかということを一緒になつて考えてくれないと、『わかりました。善処します』とあまり聞かないのです。私は今日お集まりのと

りわけ女性の皆さん方に、テーマを絞つてまいりましたので、三つほど具体的な提起をして帰りたいと思います。一つは思いやり予算、これを納税者の立場から徹底的に追及してほしい。思いやり予算とは何でしょう…」。

桑江さんのこの提起は、私たちの中にズッシリと残りました。

私の税金によって私自身がこの基地を支え、あの少女たちの苦しみに加担してきた。まず自分自身が踏みつけてきた足をどける努力をしなければ「沖縄に連帯！」もむなししい言葉にすぎないのではないか。

かくしてこの米軍基地関係費、とりわけ金丸信（当時の防衛庁長官）が思いついたという「思いやり予算」に対して「異議あり！」と声を上げ、行動を始めたのです。

まずは多くの女性たちに発信。六月十四日には女たちを中心に多くの賛同の声と力の中で「異議アリ・思いやり予算・関西」は次の呼びかけ文をもって発足しました。

今、基地予算、安保、納税者訴訟等々について学習会を持ちながら、地域・街頭

情宣、訴訟準備と進んでいるところだす。

## なぜ思いやり予算なのか

沖縄の米軍基地内はリトルアメリカ。いたれりつくせりとか。三〇〇〇人収容可能な豪華保育所建設に十二億、米軍住宅は一戸一億。光熱費は全額日本負担で

使いたい放題。娯楽施設から教会、武器庫に基地の移設費用まで年間約七千億円。うち安保条約や地位協定にすら根拠のなかった「思いやり予算」は約三千億円。すべて私たちの血税によるものです。私たちがだまされている間に一九七八年から年々確実に増額していつているのです。基地に接することの少ない鈍感な私たちに、運動の盛り上がりを通

過すればまた他人事。しかし税金を通して、納税者としての義務と権利として基地の問題を身近に引き寄せ、基地撤去、安保破棄に向かって見るのもひとつの道だろう。生活感覚から出発して女の目から離れることなく、ジックリと反安保へ。(徐翠珍)

## 沖縄の米軍基地を支える「思いやり予算」にあなとも「異議あり！」の声をあげませんか

沖縄では一人の少女の勇気ある告発に端を発した反米軍基地の大きな闘いが日に日に盛り上がっています。

基地の島五〇年。今平和な沖縄への豊かな展望とともに闘いは大きくうねり始めています。この反基地闘争の中で注目されだしているのが「思いやり予算」です。

米軍駐留経費の70%もが私たちの税金でまかなわれているのです。その金額は95年度で6300億円！その上々確実に増額されて行くのです。

日米地位協定24条にも米軍維持に必要な経費は米国が負担すると定められているにもかかわらず、78年当時、金丸防衛庁長官の「思いやり」という発送で始まった62億円の税金からの支出は今や100倍にも達しています。

私たち自身の払っている税金によって米国は安上がりの沖縄基地で日々殺りくつと侵略の訓練を行っているのです。

かつて米国にとって沖縄の基地は確かに地理的な意味で極東のキーストーンでした。しかし、今日の軍事技術の著しいハイテク化、高速化によって、地理的条件としては必ずしも基地の維持にとって絶対ではなくなっています。米国政府高官の中でさえ「安上がり」が沖縄基地の維持の決定的要因であるという声が出ています。

沖縄の基地を支えているのは他ならぬ私たちの税金であり、私たちが黙らつづけることが基地を支える条件になっているのではないのでしょうか。

形骸化した憲法9条。しかし私たちに戦争のない平和な生活を営む権利があり、また戦争を起こさせない、加担しない、人権を守る義務もあるはず。米軍基地がある故に声明と人権が常に侵されている事は沖縄での少女強姦事件を見れば明らかです。米軍基地と、憲法にうたわれている基本的人権は本質的に相入れないものです。税金を軍事基地に使うのを容認しつづける訳にはいきません。

私たちはこれ以上、米軍基地存続に加担したくありません。

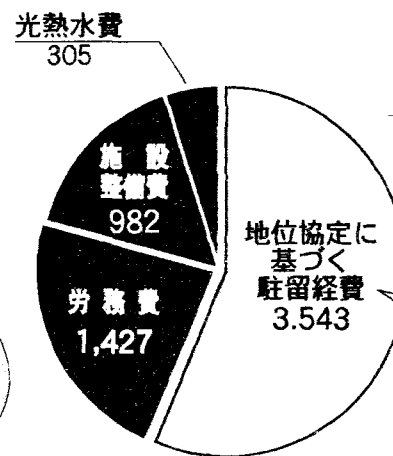
「思いやり予算」に税金を支出することに「異議あり」の声を共にあげようではありませんか。そのための「思いやり予算」違憲訴訟やさまざまとりくみを共にすすめるようではありませんか。

呼びかけ人 (アイウエオ順)

荒木彩代子 (白保の海を守る神戸の会)、江下時代 (石垣島・白保に空港を作らせない大阪の会)、神坂玲子 (箕面忠魂碑違憲訴訟原告)、北川れん子、北田美智子 (阪神大震災被災女性を支える会)、徐翠珍 (外登法裁判「大赦」拒否訴訟原告)、立川さき (蓮塾)、立身富子 (YWCA大阪)、田中穂子 (弁護士)、樽美政恵 (婦人民主新聞)、次田典子 (田辺町議)、鶴田律子 (タカラブネ労組女性部)、服部素 (沖縄の痛みと怒りに連帯する大阪女性ネット)、長谷川由子 (広範な国民連合)、馬庭京子 (使い捨て時代を考える会)、広田陽子 (宝塚市議)、古川佳子 (箕面忠魂碑違憲訴訟原告)、松井義子 (憲法九条の会・関西)、松尾輝子 (婦人民主クラブ)、村上さち子 (おんな労働組合)、村上シズ (婦人民主クラブ)、山中きよ子 (大阪府議)、吉田満智子 (蓮塾代表)、吉本弘子 (寝屋川市議)

# データシート 思いやり予算

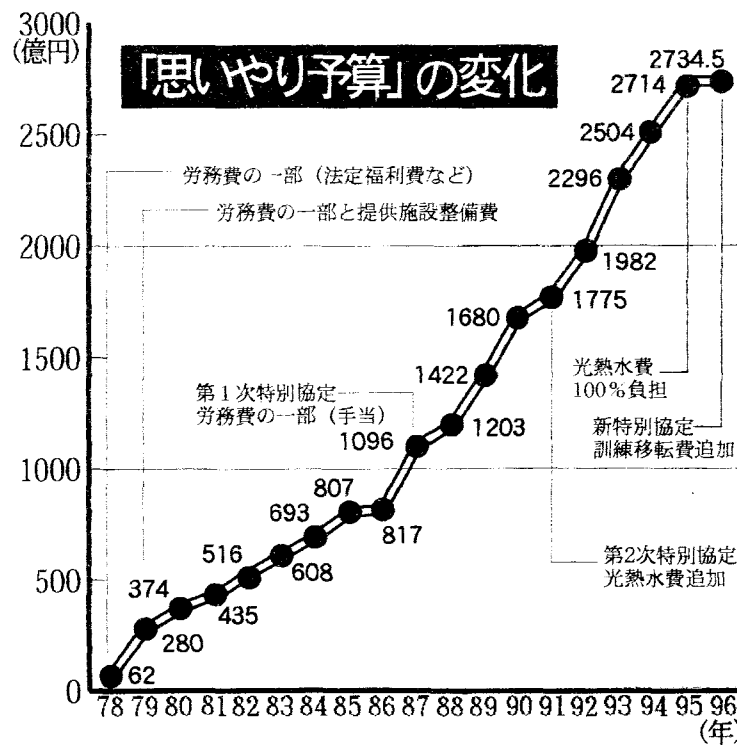
## 日本政府による 米軍駐留経費負担 (1995年)



- : 「思いやり予算」
- <内訳>
- ・ 国有地借り上げ試算
  - ・ 提供施設地代、借料
  - ・ 基地周辺対策費
  - ・ 自治体への交付金等
  - ・ 訓練水域漁業補償等

米国の経費負担  
≒28億ドル(93)

総額6257億円  
≒64億ドル

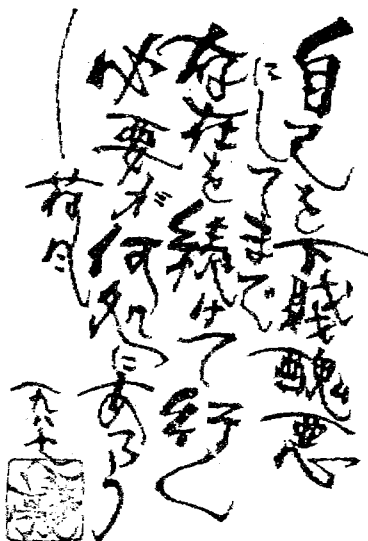


新聞を広げてはボソボソ、テレビを見てはブツブツ。新党結成絡みのニュースにすっかり「政治評論家」していた私だったがとうとうそのネを上げてしまった。もう言葉がない。

例えば：で、神奈川県〇区のお話をひとつ。このたびめでたく「民主党」の公認を得たA候補のキャリア。ちょっとと見て、ナニ、コレ。

「A候補は、今回比例区にまわった新進党の現職議員の元後援会長。党内からの改革を果たすという事で自民党公認での出馬をめざしたが他の候補との公認争いに敗北。仕方なくその後社民党と自由連合の推薦を受けて労組を中心に基礎固め。しかし、このたび民主党公認を申請。そしてどういう理由かめでたく他候補との談合に勝利し、民主党公認となる」。A候補はどこに自分と民主党の一致点を見いだしたのだろう。おもしろい民主党ってどういふところ？と聞いてしまふ。

一方、その民主党の公認争いに破れたB候補、彼女は今や全国区の知名度を誇る？ローカルパーティのメンバーなのだが、なんとなんと、なんの縁もない別の選挙区へ移ってやっと民主党公認を得ての立候補と相成った。そうまでしてナシヨナルバー



ティの一翼を担ってどうするの？と、実は昔からの知り合いである彼女に思わず聞いてみたいと思ったりもしたのだが…。

でもこんな話は全国いたるところでゴロゴロしているつまらない話の一つにしか過ぎないようだ。えっ？あなたの選挙区で

恥も外聞も捨てちゃって、いったいどうしちゃったのかしら？永田町を自指す皆さん。いつそのこと、仮想行列でもやってちょうだい。もちろん永田町をめざす皆さんが、その折にはなりふり構わないことぐらい以前から知っていました。でもでも、やっぱり今回の節操のなさってちょっとみっともなさ過ぎませんか？それでも大人？って聞いてしまいます。永田町へ何を

しにいくつもりなんだろう。

「自己を下銭醜態にしてまで存在を続けていく必要が何処にあるか」荷風「これは荷風に私淑する私の友人(版画家)がある年の年賀状で送ってくれた版画にあった言葉。私もこの言葉にちょっと影響を受けている。どうせなら自分自身を卑下することなく毎日を生きたいと思う。

そして別の年の彼のオリジナルメッセージ、「もうけたがる人 新しがる人 お忙しい人は 地球をほろぼす人です」ナルホド。…というわけで、私はやっぱり政治家にはなれそうもない。

それでも、間もなく衆院選。結果が出ます。主権者としてどうすべきか、悩まないわけにはいかない。またある年の彼のメッセージ。

「飲むときは沈むがよし」  
「なんにも期待しないほうが春が来るよとお父さんが言っています」。(幸子)

## 選挙の秋に 思う

### 今月のひとこと

# 原子力艦 入港情報

(86)

1996.9.7~10.4

S=原子力潜水艦(原潜) スタージョン級  
L=原子力潜水艦(原潜) ロサンゼルス級

## 横須賀

- ◇ 9/14 09:45 原潜キャバラ (S) 出港。
- ◆ 9/18 14:19 原潜バードフィッシュ (S) 入港。
- ◆ 9/21 13:51 原潜ラホヤ (L) 入港。
- ◇ 9/24 09:53 原潜ラホヤ (S) 出港。
- ◇ 9/26 09:45 原潜バードフィッシュ (S) 出港。
- ◆ 10/3 13:56 原潜ヒューストン (L) 入港。

横須賀累計(うち原潜): 22(19)

## 佐世保

なし

佐世保累計(うち原潜): 6(6)

## 初代ビーン(沖繩・那覇町)

- ◆ 9/16 07:31 原潜バードフィッシュ (L) 入港。
- ◇ 同日 17:35 原潜バードフィッシュ (L) 出港。

初代ビーン累計(うち原潜): 14(14)

●1996.1.1から10.4までの各地の原子力艦入  
港数: ( )内は原潜

横須賀	22(19)
佐世保	6(6)
初代ビーン	14(14)
合計	42(39)

ライヤル。吉倉棧橋手前を折り返すコースでオール揃きを競った。競争ということではなく、それぞれのやり方で「海と遊んだ」。これまた恒例となりつつあるキャッチピース(や)さんからの豪華賞品の差し入れに「うひゃー」などと声がある。

● アメリカのイラクトマホーク攻撃に、横須賀のヒューイットが加わった。新しい母港艦カーティスウィルバーがぐいぐいとこちらに向かっているとの情報も流れる日曜日。いや、だからこそあまりに



木陰で記念撮影

もヨコスからしい一日が過ぎていったのだ。 (松戸志郎)

当日は一隻一枚のメッセージボードが用意され、「沖繩反基地に連帯」「空母はいらない」「トマホーク撃つな」のスローガンが鮮やかに切り替わるテクニクを見せるべく、事前に綿密な打ち合わせが行われ、図面入り行動司令書、などと言いう物も密かに用意された。それが配られたのはなぜかすべてが終わってからのこと。平和船団的フシギ段取りもまた抜かり無く用意されていた。この日は、「市民の意見三〇の会東京」呼びかけによる「神奈川基地めぐりツアー」がここヨコ

「じゃあね」と言いつつ台風が歌舞伎町付近に去った九月十五日朝、ヨコスカ平和船団主催の「空母はいらない・平和船団手漕ぎ派大会」が行われた。毎年冷やし中華が姿を消すころ行われるこの催しは、「軍隊に奪われた海を市民の手に取り戻す」願いを形にしようと三年前に定例化された。一九九一年九月十一日は空母インディペンデンスがヨコスカに配備された日である。毎年この日に一番近い日曜日が選ばれる。臨海公園には厚木、相模原などからも仲間がかけつけ、ゴムボートを中心にヨット、カヤック合わせて約十隻の布陣となった。

「合流予定地点にチャーター船が着いても、わが平和船団は影も形もない。なんとまだ船着き場までうごめいているのだ。こんな時のために用意されていた合流地点Bに先回りして待つことにする。ここで前述の「華麗なるメッセージボード攻撃」が火を吹く、はずであった。ところが実際には「沖繩反基地に連帯」「帯」が泣き別れ、なかなか繋がらない。困った新倉さんは「えー沖繩連帯の実現がいかに苦難の道のりであるかを、今平和船団は表現しようとしております」とアドリブを飛ばしたと言った。小さなボートの奮闘の末ようやく「連帯成った」瞬間には「チャーター船上の人々は口々にブラボーを叫んだのだ。陸にあがり昼食の後は恒例のタイムト

スカにやってくる。その四五人乗りチャーター船へ向けてこの華麗なるメッセージボードテクニクを披露しよう。「平和船団十年の蓄積」を見ていたかどうかというのが必殺のメインイベントのはずだった。しかしあ、またしても土壇場のツメが甘かったのだ。以下は案内役でチャーター船に乗った新倉さんの記録による。

# 9月15日は 手漕ぎ派記念日



## 23年目の短い抗議文

1996.9.15  
インディペンデンス母港5周年抗議  
空母はいらない9.15手漕ぎ派集会参加者一同

インディペンデンスが横須賀を母港にして5年。ミッドウェーから数えれば実に23年という月日が過ぎた。

艦載機の墜落。飛行訓練の爆音。爆発炎上事故。住宅建設のための緑の破壊。日本列島を戦場

にみたてた低空飛行訓練。日米安保さえ逸脱した軍事行動。そして、湾岸戦争。これが横須賀の空母機動部隊の23年だ。

「自由の旗艦である本艦は、アメリカの国益を保護するため、必要な場所へいつでも展開し、かつ戦闘する準備体制を整えています」とインディペンデンスの艦長(91年当時の)は言った。実際横須賀を母港にした空母は、そのように振る舞ってきた。アメリカの国益のために自由に爆音をばらまき、自由に緑を破壊し、自由にこの町から出撃して行ったのだ。

そんな空母の母港はいらないと、今日、私たちは、手漕ぎのゴムボートを軍港に浮かべた。巨大な鋼鉄のかたまりである空母とゴムボート。圧倒的な力の差。それでも私たちは小さなボートに乗る。力でねじ伏せる方法を選ばない私たちは、ゴムボートがゴムボートのまま空母を追い返す、そんな日が来るかもしれないと、ひそかに思っているのだ。

さあ、軍港に吹く風を背に受けて、もう一度大きな声で、あなたがたに伝えよう!

- 空母の母港はいらない!
- 厚木基地での飛行訓練をやめよ!
- 池子米軍住宅を市民に返せ!
- 上瀬谷を返せ!
- イラクへのトマホーク攻撃を許さない!
- 第3波攻撃をするな!
- イージス艦カーティスウィルバーは来るな!
- 1,2号バースの汚染の全貌を公表せよ!
- 原子力艦船は入港するな!
- 基地はいらない、どこにも!

# キャッチピース 第6回全国会議

## 沖縄で

971.25(円)  
～1.26(円)

詳しくは次号以降で  
お知らせします。

### 月刊キャッチピース

No.46 (通巻125号)

発行●脱軍備ネットワークキャッチピース  
連絡事務所●〒222 横浜市港北区錦ヶ丘  
10-4 ハイッ幸1-B

☎ 045(433)3483  
FAX 045(593)1824

E-MAIL QZT04441@niftyserve.or.jp

編集●月刊キャッチピース編集委員会  
郵便振替●00160-7-136148キャッチピース  
定価●100円 (通信会員年間3000円)

### 会計報告

(96.9.2～96.9.30)

#### [収入]

○前月からの繰越し	162,980
○今月の収入	62,000
会費収入	36,000
(内訳) 維持団体	12,000
維持個人	0
参加団体	0
参加個人	0
通信会員	24,000
カンパ収入	26,000
預金利息	0
資料収入	0
運動収入	0

#### [支出]

●今月の支出	110,278
事務所代 (10月分)	40,000
水道光熱費	2,466
電話FAX費(7月分)	3,450
郵送費	49,202
文具・備品	0
印刷・コピー代	0
郵便振替等手数料	830
雑費	14,330

●次月への繰越し 114,702

\*行動費は行動プロジェクト毎の独立採算となっているため、それにあてはまらない収支のみがこの欄に計上されます。

# SOS!

●キャッチピースの財政がとうとう底をいってしまいました。今月の会計報告「繰越11万円」あまりとありますが、実際には前号など印刷屋さんにも8万円余りのツケがあり、実際には3万円しか手元にありません。この号は、印刷屋に出せず「リソグラフ」で刷っています。それでも郵送費が出ません。●未納の会費、あるいは前納、そしてカンパを！よろしく願いします。(一同)